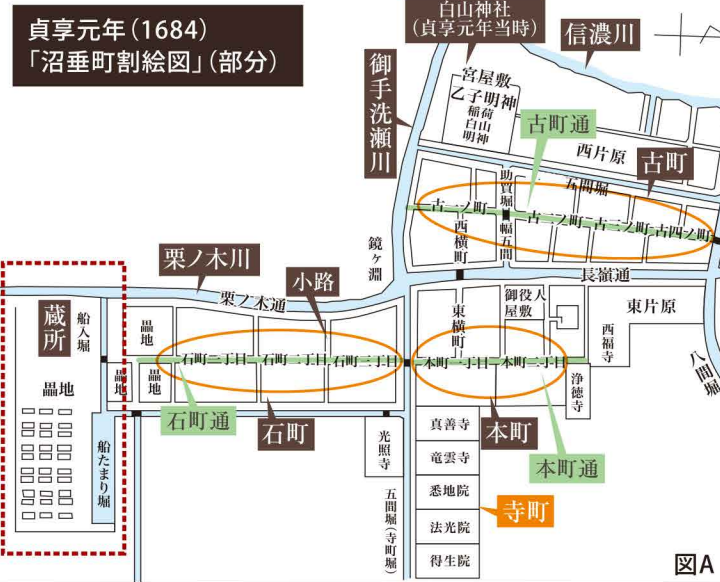


沼垂のまちなみ ①蔵所の町

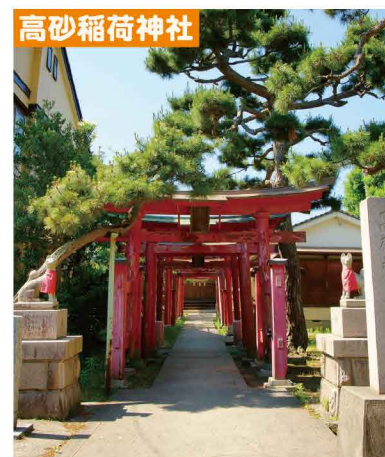
沼垂町には新発田藩の年貢米を管理する**蔵所**(くらしょ)があり、米を買いに来る船に年貢米を売却したり、関西方面へ向かう船に積み出したりする基地となっていました。蔵所があったのは今の沼垂小学校の場所で、湊から奥まっているのは洪水で浸食されないしっかりした土地を選んだためでした。蔵所は「**晶地**(らいち)」と呼ばれる防火用の広い空き地に囲まれています。蔵所がいかに大事にされていたかがわかりますね。



明治中期の船だまり



蔵の守り神「高砂稲荷神社」



高砂稲荷神社



明治30年代 沼垂蔵

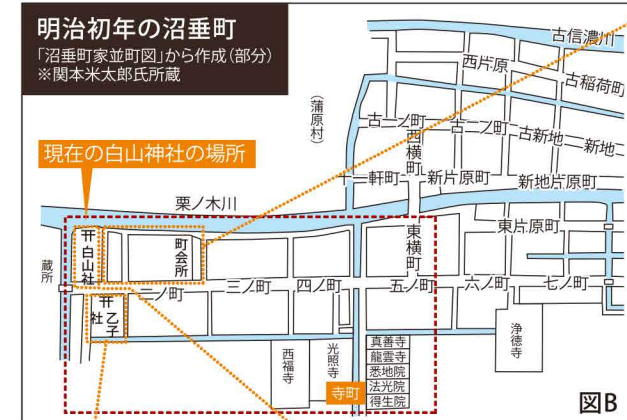


蔵所のあと・現在は沼垂小学校(2012年撮影)



沼垂のまちなみ ②石町エリア 小路でめぐる 白山神社～寺町

沼垂町は**栗ノ木川**と**御手洗瀬川**、**寺町堀**(五間堀)により**石町**(こくちょう)通、**本町通**、**古町通**の3つに区切られていました。**石町通**は米穀類を取り扱う店が多かったためにこの名がつけられました。堀と川は通りに平行して流れ、小路はそれらを結ぶように走っています。

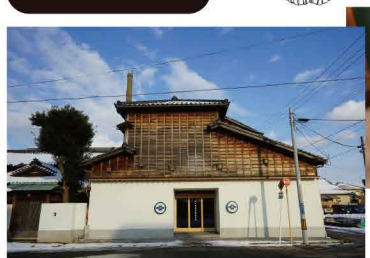


沼垂町の総鎮守**白山神社**は町の移転や川欠けなどで何度か移転し、享保11年(1726)に現在地に落ち着きました(図A・B)。

乙子神社



乙子神社は湊の神様ニャ。



酒蔵のどこかにワタシがいるニャ。見つけて欲しいのニャー。



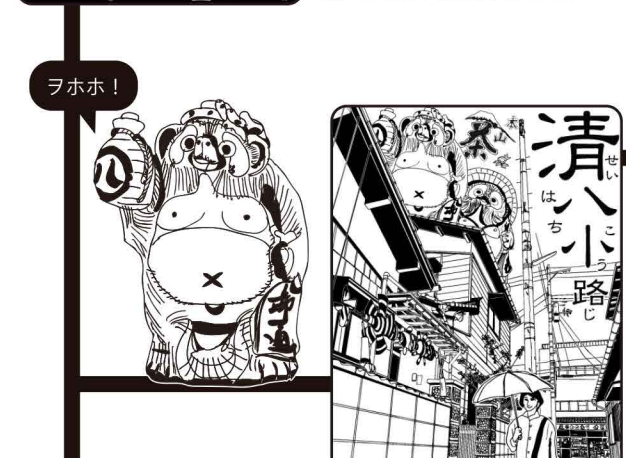
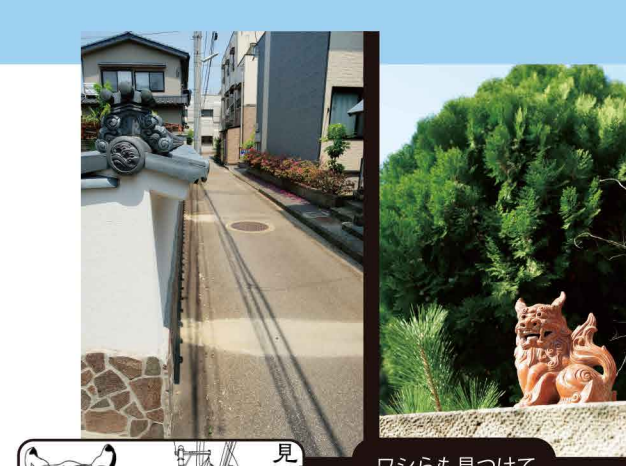
3 太夫小路(たゆうこうじ): 小路の角に金子家、二軒目に上田家の二軒の神官の屋敷があった。新潟言葉で神官を「たゆ様(太夫様)」ということから、この名で呼ばれた。



沼垂白山神社



沼垂白山神社からスタート!

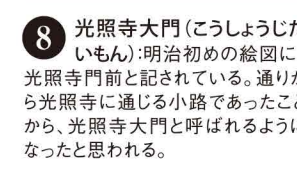
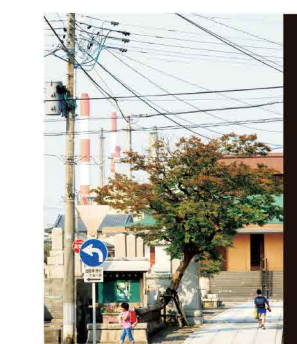


沼垂のまちなみ ③寺町エリア 小路でめぐる 沼垂寺町と市場

寺が並ぶ**寺町**は、本町通の東に配置されました。周辺で開かれていた朝市は、昭和30年に寺町堀の埋め立て地(現在地)に移りました。



左の写真は昔の寺町堀ニャ!



寺と古い市場に若い世代が参入。新しい町が生まれつつあるよ。

